

新規

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:

ウォータースタンド株式会社 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の適切な管理と処理について本社ESG推進室から監督するほか、研修などにより理解を深めるよう指導している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力やガソリンなどのエネルギー使用量は請求書から把握している。営業所における電気使用量は多くないが、ガソリンについては営業所間の担当エリアが広範囲に及び長距離移動が恒常化している地域で営業所を開設することで、効率的な営業活動とガソリン削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		最も排出量の大きい本社における温室効果ガス排出量は228t-CO2(2024年6月期)であるが、弊社商品による温室効果ガス排出抑制量(Scope4)についてはボトルを捨てない、運搬しないことで287,945t-CO2(2024年6月期)を削減できたと推計される。今後も自社及びScope4における温室効果ガス排出抑制に取り組んでいく。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		マイボトルへの給水を呼びかけることで、ワンウェイプラスチックボトル削減を推進し、生物多様性を棄損する環境中へのごみのポイ捨て抑止に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		弊社商品はレンタルにより提供しているため、お客様から回収した商品はリペアにより再利用しているほか、廃棄となる商品からも部品や資源を回収するなど資源の有効利用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水道インフラを活用する浄水型ウォーターサーバーを提供することで、地下水のくみ上げや工場設置などによる山間部の環境負荷のないビジネスモデルとしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		弊社商品はグリーン購入品へ認定されていないが、従来のボトル式ウォーターサーバーよりも圧倒的に環境負荷が低い。この商品特性をご理解頂けるよう、情報発信に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		ボトル入り飲料水は、中身を残して廃棄されるとペットボトルのリサイクルに不適であるため、出前授業などを通じて適切な処分方法を伝えている。	1	2					6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		森林経営の際に排出される間伐材を活用した「森のタンブラー」を製造するアサヒユアス株式会社と戦略的パートナーシップを締結し、イベント時に「森のタンブラー」を使用している。							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		海洋プラスチックの元になるワンウェイプラスチック削減に向けてミッションを策定し、マイボトル活動を通じて削減に取り組んでいる。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2			13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

